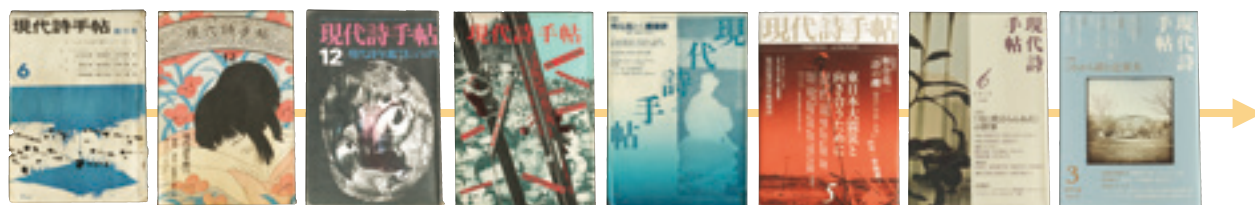


詩のまち前橋で展示します

詩の未来へ「現代詩手帖」の60年

岡前橋文学館 ☎027・235・8011

「詩の未来へ」現代詩手帖の60年を開催します。6月に創刊60周年を迎える現代詩手帖。ジャーナリズムの立場から詩と批評の発信を続けてきたこの雑誌の60年を、詩と深い関わりを持つ前橋で展示紹介します。



日時=4月27日(土)~6月30日(日)(水曜と5月7日(火)は休館、5月1日(水)は開館)、9時~17時(入館は30分前まで)

費用=400円(高校生以下・障害者手帳を持つ人とその介護者1人は無料。4月27日・5月19日(日)・6月16日(日)は無料)

● 講演「『現代詩手帖』というジャーナリズム」

日時=6月1日(土)14時

対象=一般、先着100人

出演=文芸評論家・三浦雅士さん

費用=観覧券

申し込み=4月29日(月)から同館へ



三浦雅士さん

● トーク「『現代詩手帖』が始まりました」

日時=6月8日(土)14時

対象=一般、先着100人

出演=詩人・伊藤比呂美さん、現代詩手帖元編集長・樋口良澄さん、現代詩手帖現編集長・藤井一乃さん

費用=観覧券

申し込み=4月29日(月)から同館へ

● 学芸員による展示解説

日時=5月19日(日)・6月16日(日)、13時~14時



伊藤比呂美さん
撮影 平山利男

時の流れを感じる企画展

萩原朔美の仕事Vol.2 定点観測

岡前橋文学館 ☎027・235・8011

企画展「萩原朔美の仕事Vol.2 定点観測」を開催します。本展では長年にわたり撮影を行ってきた、定点観測という手法に基づいた写真などを展示。写真から読み取れる差異や変化を感じ、私たちが

の周りにも定点観測写真の素材があふれていることを紹介します。
日時=4月20日(土)~6月23日(日)
(水曜と5月7日(火)は休館、5月1日(水)は開館)、9時~17時(入館は30分前まで)



● 企画展記念対談「写真の兄弟は演劇だ」

翻訳家の松岡和子さんと文学館長の萩原朔美が、定点観測について語り合います。

日時=5月18日(土)14時

対象=一般、先着

100人

費用=400円

申し込み=4月20

日(土)から同館へ



翻訳家・松岡和子さん

● 前橋文学館リーディングシアターVol.8 寺山修司作「犬神」
日時=6月23日(日)14時
対象=一般、先着100人
費用=400円
申し込み=5月25日(土)から同館へ

● 前橋文学館友の会記念講演



前橋文学館友の会の記念講演会を開催。アーツ前橋館長の住友文彦が「ミュージアムはだれのもの？ アーツ前橋の5年間」をテーマに講演します。

日時=4月27日(土)14時30分~16時

申し込み=当日前橋文学館へ直接